



山陰海岸ジオパーク



<https://www.suna-r.com/>



鳥取砂のルネッサンス実行委員会メンバー

委員長 田淵 裕章【(株)田淵金物】
副委員長 野村 亮介【(有)開拓ノムラ看板工房】
事務局長 尾前 康寛【(株)日本海プラザ】
監 事 松尾 真司【鳥取砂丘 砂の美術館】

実行委員(50音順)

池原 正樹 【モルタルマジック(株)】
石上 直樹 【(株)プロシード】
石塚 康裕 【(一社)麒麟のまち観光局】
遠藤 理恵 【MOTHER's WEDDING.】
岡野 巧 【鳥取砂丘砂像連盟】
岸本 雄司 【(一社)すなばスポーツ】
段塚 俊彦 【ピストロ&バーおれんち】
中井 史生 【(有)アドセンターバル】
中井 みずほ 【Tottori Mama's】
西川 昌孝 【西川ピアノ調律所】
西山 雄一郎 【(有)西山家具】
林 貴文 【はやし整骨院】
福島 葉子 【hair/nico】
諸吉 稔 【株式会社TSP】
山根 弘司
山根 光彦 【(有)アドセンターバル】

オブザーバー:鳥取市役所 観光・ジオパーク推進課
協力:砂の美術館/鳥取砂像連盟



鳥取 砂のルネッサンス2021

報告書

鳥取砂のルネッサンス実行委員会



TOITTORI SAND'S RENAISSANCE

砂のルネッサンス 2021年の活動を終えて

砂のルネッサンス
実行委員会
委員長

田淵 裕章

砂像文化の醸成と砂の魅力の可能性を広げることを目的として、熱意ある市民が中心となって立ち上げた砂のルネッサンス実行委員会の活動は、今期で5年目の取組となりました。しかしながら、昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染症拡大により当初予定しておりました事業計画も思うように実行することは叶いませんでした。多くの活動は密を防ぐために制限されることが多々あり、すなば関連のイベントや砂像選手権など多くの人へ向けて当初画いていた事業計画に関しては、残念ながら予定通りに執行することはできませんでした。

本年度の核となる事業として、県内外から多くの来場者で賑わうかろいち敷地内に更に大きなすなばを出現させ、砂像選手権を同時開催させることによって、より多くの親子に砂の魅力を感じていただき、砂に触れる機会を提供し、鳥取の砂のファンを更に拡大させ、砂の文化を育んでいくことを目標にしていますが、イベントの開催自体を自粛せざるを得ない状況に陥ってしまいました。それでも委員会メンバーは歩みを止めることなく、「こんな時だからこそ出来ることを精いっぱい行おう」と知恵を振り絞って最大限の活動を行ってきた一年となりました。

年当初の事業計画を再度見直し、感染症予防の指針に従いつつ出来ることはなんだろうか？不確実な情報に振り回され、決めては崩れ方向転換を余儀なくされ続けました。そんな中、オンライン上で砂の魅力を発信することを選択し、YOUTUBEとインスタグラムを活用し、砂像彫刻やすなば遊びの魅力発信とブランディングを行い、鳥取砂丘の砂のファンを拡大する活動に尽力いたしました。また、昨年に引き続き多くの幼稚園と連携して鳥取砂丘西側エリアを舞台に「すなばようちえん」も複数回開催しすなば教育の普及啓発を行いました。そして、委員会メンバーをはじめとする関係者のスキルアップ向上を目的に、ポーネルドのスタッフの方にご協力をいただきブレイリーダー研修会も複数回行い、知識レベルの向上にも取り組みました。そして、コロナ禍で暗いムードが漂うこんな時だからこそ、世の中に勇気と希望を与えるべく、実行委員会に作家の花井健太(花輪窯)を迎え入れアートディレクションと製作リーダーとして活躍頂きました。多くの鳥取県民有志の方にもご協力をいただき、松葉蟹の解禁に合わせて蟹と恵比寿さんの巨大砂像をかろいちの広場に作製、多くのマスコミにも取り上げていただき、鳥取の砂像彫刻を県内外に広く発信することが出来ました。様々な場面で活動の制限を余儀なくされ続けましたが、実行委員会メンバーの創意工夫と積極果敢な活動により、「砂のまち鳥取」実現へ向けて着実に一歩も二歩も前進した一年とすることができました。

最後になりましたが、引き続き新型コロナに翻弄され続けた大変な一年に全力で活動にご協力頂きました委員会内外の関係者の皆様へ心より感謝を申し上げます。来年度はよりダイナミックな活動を行い、鳥取砂丘の砂の魅力をより多くの人へ伝え、砂像彫刻とすなばの文化を発展させていくことを宣言いたしまして、私からのあいさつに代えさせていただきます。ありがとうございます。

監修
同志社女子大学
現代社会学部
現代こども学科教授
笠間 浩幸氏

砂場と子どもについて30年以上研究(砂場)と子どもなど著書も多数

外部協力
(株)ポーネルド
遊環境事業部・次長
永山 隆太氏

HISTORY これまでの歩み

2017



**実行委員会発足一
鳥取砂のルネッサンス2017開催**
●シンボル砂像制作 ●砂像選手権 ●砂のワークショップ

2018



鳥取砂のルネッサンス2018開催
●シンボル砂像制作 ●砂のワークショップ
●学生限定砂像グランプリin鳥取 ●鳥取砂丘ビアフェスタ
●中学生砂像選手権 ●砂丘しゃんしゃんフェスタ

2019



**鳥取砂のルネッサンス
2019開催**
●シンボル砂像制作
●学生限定砂像
グランプリin鳥取
●あそびのすなば
(ポーネルド社とのコラボレーション)
●光る泥だんごづくり
●フードブース
幼児セミナー／すなばようちえん開催

2020



**イベント中止
コロナ復興砂像制作/展示
あそびのすなば2020**
●砂遊びの魅力発信
●インスタグラム
小さな砂像選手権
幼保キャラバン
●アンケート調査 ●鳥取県教育委員会との意見交換会
未来のイメージビジョン制作

2021

**イベント中止
シンボル砂像制作/展示
砂像型枠商品開発**

砂あそび共育支援
●すなばようちえん
●砂絵制作・展示
●保育者対象砂場保育研修会
●砂場環境整備
●砂の先生育成事業

砂まつりで予定していた「砂像選手権」
「あそびのすなば」「砂のワークショップ」は、
コロナウイルス感染拡大防止により中止となりました。

シンボル砂像制作

2021年10月18日(月)～11月12日(金)

会場 : マリンピア賀露
制作 : 花井健太
鳥取砂のルネッサンス実行委員会
協力 : 砂の美術館
展示期間 : 11月13日(土)～11月21日(日)

松葉ガニなど因幡の魅力を、鳥取砂丘の古砂丘の砂で制作。鳥取らしい砂像にするとともに、麒麟獅子の背中には七福神の恵比寿天をのせ、商売繁盛・除災招福・大漁豊作の願いを込めました。



ディレクションおよび制作

はない けんた
花井 健太 氏

【経歴】

- 1985年 生まれ 千葉県柏市出身
- 2011年 東京藝術大学大学院研究科彫刻専攻修了
- 2014年 重要無形文化財「小石原焼」保持者 福島善三氏に師事
- 2017年 鳥取県鳥取市河原町にて「花輪窯(かりんがま)」開業



砂像お披露目イベント

2021年11月13日(土) 13時30分～14時00分

プログラム : 実行委員長、来賓挨拶 / 賀露神社神様による祈禱 / 麒麟獅子の演舞
参加者 : 鳥取市観光経済部長、鳥取市関係者、株式会社食のみやこ鳥取代表取締役専務、砂のルネッサンス実行委員会メンバー、賀露神社、賀露神社麒麟獅子舞保存会
報道関係者 : 日本海テレビ・BSS・日本海新聞・朝日新聞



所見

実施会場の「賀露エリア」は観光客そして親子連れの市民が多く集まる場所であり、幅広く砂像文化の発信ができた。今回、関係者以外にも砂像制作に関心がある市民数多く、大山町在住の彫刻家の皆様にも参加いただき、一つの砂像を創り上げることができた。制作期間中は、砂像の作り方や砂について多くの質問をいただいたり、中には砂に触れ感触

を確かめる方もおられ、制作の様子を見ている方にも興味関心を持っていただけた。今後は、古砂丘の砂や砂像が完成するまでの解説看板を設置したり、歴代の砂像を看板で展示するなど、もっと精力的に砂像の魅力発信に努めていきたい。



砂像型枠商品開発

2021年8月27日(金)～9月10日(金)
試作運用 : 10月18日(月)～10月31日(日)

砂像制作に必要な型枠施工は、手間と費用負担が大きく、砂像づくりが一般に広く普及する上で大きなハードルに成りうる。誰でも安価でできるキット開発を目指し、まずは手間と費用を削減できる型枠、施工方法を検証した。

結果と所見

枠の固定に釘を使わず、鉄の角材を使用することに、使用する角材の大きさや強度、転圧方法で失敗を繰り返しながら改良を重ねていきましたが、最適な解は見つけられず、枠をとると、幾度も砂が崩れてしまった今回の制作では業者に転圧を依頼し、型枠の試験を行った。結果成功。今後、比較的軽量である900mm角の型枠を使用し砂像選手権でも流用できるよう試作を進めていきたい



はじめに —— 「砂あそび共育支援」にかける想い

子ども達が大人になった頃いったいどんな時代がやってきているのでしょうか。
 どんな社会だったとしても、その時代に合わせ変化し、他者と協同しながらでも自らの生涯を生き抜ける子ども達であってほしい。
 それが私達大人の想いです。砂遊びは、こどもの発達に大きな役割を果たすことがわかっています。
 また砂遊びを通して人間関係づくりや社会性・思いやりといった成長の姿が見れるのも砂場遊びの魅力のひとつです。
 「砂」のまち鳥取。この鳥取の「砂」が子ども達を育て、人をまちを豊かにする。そんな未来を私たちは描き、1年間走り続けました。

すなばよちえん

2021年6月16日(水)～11月17日(水)

会場 : 鳥取砂丘西側エリア
 参加園 : 認定こども園ひかりこども園年長／
 鳥取市立すくすく保育園年長／
 計9園 鳥取市立ひかり保育園年長／鳥取市立白ゆり保育園年長／
 254名 空山ぼくじょうようちえんぱっか／森のようちえん風りんりん／
 鳥取市立倉田保育園年長／鳥取福祉会よねさと保育園年少／
 認定こども園いなば幼稚園年長

実施までに、現状園の課題などをヒアリングして内容を検討。実施後のヒアリング検証も行った。

主な園の課題

砂遊びのマンネリ化 / 砂場が小さいので、ダイナミックな遊びを体験させたい / 園での行事中止が相次ぎ、卒園する年長に特別な思い出を残してあげたいetc

授業内容

① 鳥取砂丘の「砂」についての紙芝居で、遊ぶ前に砂丘について学習。



③ (株)ポーネランドのカラフルな砂場道具や子ども用の木コテを使い、お城や階段づくりに挑戦! つくりながら次々アイデアが生まれてくる。思考を使えば、なんでもいろんな用途として使える遊び道具であることを発見。



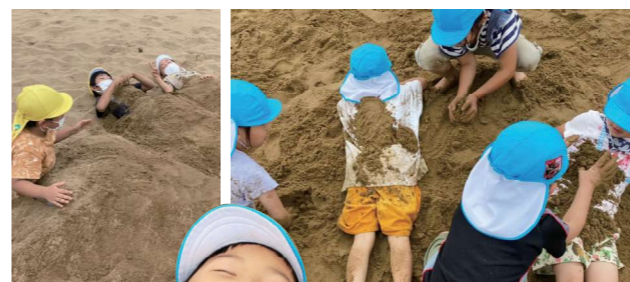
④ 鳥取砂丘という広大な砂地だからこそできる、身体を動かした遊びを体験。先生VSすなださんの型枠対決や、一緒に砂遊びをしたり、いろんな遊び方を体験。



② 穴あきバケツに砂と水を入れ土台づくり。水の量や混ぜ方で固まり方が違う事を学んだ。そして穴あきバケツをとるときは垂直にぬかなければ崩れてしまう事も実際に体験。何度もチャレンジした。



⑤ 中にはこんな遊びも! 多くの園児が寝ころび砂を肌から感じていた。これも鳥取砂丘という広大な砂地だからこそ体験できる遊びだった。



⑥ 先生も実行委員会メンバーと本格的な砂像に挑戦! この姿が子ども達の興味や関心を芽生えさせることを改めて実感した。



⑦ 最後に作品と作品をつなぎ合わせ、園児と先生全員で創ったものの発表を行った。園によってできあがったものが違い、普段の遊び方でこれだけ変わるのか? と新たな発見をいただくきっかけとなった。



子ども達の变化

遊びの変化。
 単体の遊びから集団の遊びへ
 一人遊びが多かったが、グループで一緒に何かを創る遊びに変化。

創るものが変わった
 山づくり、穴掘りという単純な作業が多かったが、型を抜いたり削ったり、型に絵を描いたりして遊ぶことが増加。

対話の変化
 集団への遊びに変わることコミュニケーションの取り方が変化。「僕これをするから、これをお願いできる?」「僕はこっつくるね!」と遊び方の変化とあわせ、対話にも変化が見えた。



園の感想

学びの場となった
 園にはない砂場道具を使い、体験したことのない砂遊びを通して多くの学びがあった。今後の砂場保育に活かしていきたい。園舎の砂場環境の改善も検討していきたい。

保護者からも喜ばれた
 お便り帳に家庭に帰った子ども達の様子について書いてあり、普段できない体験をさせてもらってありがたいとごさいましたという声が多くあった。

「できそう」が子ども達の「挑戦したい!」を刺激した

美術館の砂像は子ども達にとってすごい! と考える作品。けれどそれを「掘る」という考えまで到達しない。しかしすなばよちえんで体験した砂像は、子ども達でも「できそう」と思える作品と内容だったので、遊びの中に取り入れやすかったのだと思う。体験の流れとして、美術館で本物の砂像を見て、それを砂丘で普段できない体験を含め砂遊びをさせてもらえることは、子ども達にとって貴重な時間だった。次の日も今日は行かないの? という園児も多くいた。本当に楽しかったんだと感じた。



すなばよちえんの後、園でつくられた掲示版やおたより



検証

園によって子ども達の遊び方が違った。自主的に遊ぶ園児、指示を待つ園児、一人もくもくと追求していく職人型の園児、ものを創ることよりも、ダイナミックに砂場で遊ぶ園児などいろんな園児の姿を見ることができた。そこでなぜ園でここまで違いがあるのだろうかという一つの疑問がわき、専門家とその疑問について話し合った。そしていくつかの仮説を立て、今後の手法として、今年は1園1回の実施を、1園3回程度の実施を計画し、子ども達の変化を観察し検証を行っていきたい。その検証をもとに、「砂の先生育成事業」のプログラム構築を実施し、「砂」×「遊ぶ」×「教育」の柱をしっかりと築いていきたい。

所見

当初1カ月1園、イベント月を外して総計5回を計画していたが、予想をはるかに超える応募があった。また、今後の目標であった砂の美術館やビジターセンターへ誘導できた園もあり、将来的にすなばよちえんのプログラム化を目指します。またこの事業は保護者の意識を醸成する一つのきっかけになるのではないかと感じた。私達の事業は大人が「やらせたい」と思わない限り子ども達が体験する機会を得ることができません。小さな一歩かもしれませんが、この事業を繰り返していくことで、「砂遊びをさせたい」「砂遊びは子どもの成長に必要不可欠だ」と大人の意識を少しずつ変化させてきたい。

今後の重点課題項目

- すなばよちえんの意義そして目的を明瞭にして、より多くの賛同者・協力者を増やす。
- 一緒に活動してくれる仲間を増やす。
- 砂の美術館・ビジターセンターと連携し、幼稚園保育園を対象とした砂場遊びプログラムを構築していく。
- 1年を通して子ども達の遊びの変化を検証し、砂の先生事業プログラムの構築をしていく。

砂絵制作／展示

制作期間／2021年12月6日(月)～12月21日(火)

参加園 : 鳥取市立すくすく保育園年長/
鳥取市立倉田保育園年長/
鳥取福祉会よねさと保育園年少 計3園
展示期間 : 2021年12月24日(金)～2022年1月31日(月)
展示場所 : 鳥取市役所1階 麒麟獅子展示横

砂遊びだけではない砂の楽しみ方のひとつとして、すなばようちえんに参加下さった園児たちに砂絵制作を体験してもらった。鳥取のシンボルである「麒麟獅子」をモチーフにした砂絵で、市民へ我々実行委員会の活動意義そして子ども達の成長を伝えるとともにこの町の元気を取り戻す一助となるような事業を目指した。

完成までの流れ

- 100枚のハガキを繋ぎ合わせ一つのイラストを印刷。子ども達が色付けしやすいように切り絵にしておく。
- 各園を回り、子ども達と一緒に制作。一人2枚砂絵を体験してもらった。砂の感触や砂で絵ができていく様子に子ども達は大喜び。もっとしたい!という園児。先生方にも挑戦してもらいました。
- 100枚完成した後、繋ぎ合わせ、砂が落ちないようにボンドで固めて完成。



鳥取市立すくすく保育園



鳥取市立倉田保育園



鳥取福祉会よねさと保育園

所見

この2年間、コロナ感染拡大防止の影響でイベント中止が続き、砂に触れる機会を提供できていませんでした。園でも同じように行事が中止され、保護者が子どもの成長を見る機会が減りましたが、初めて砂絵を体験する園児もおり、見たことのない砂色、すなばようちえんで遊んだ砂とは違う砂の感触を楽しみながら、園児全員がもっとやりたい!と言ってくれる姿を見て、砂遊びだけではない砂の楽しみ方や遊びをこのような出張型でもできるのではないか、またこれが遊びのもので終わらず、教育プログラムとしてカリキュラムに盛り込まれれば、砂の文化を育むことへ繋がると感じました。



掲載記事▶
〈読売新聞〉2022/1/17

◀掲載記事
〈日本海新聞〉2022/1/6



砂場保育研修会

実施日／2021年10月22日(金)

第1部[実地研修会]10:00～12:00 場所:鳥取砂丘西側
第2部[座学研修会]14:00～16:00 場所:鳥取市福祉文化会館

参加園 : ひかりのご保育園／鳥取市立城北保育園／
鳥取市立倉田保育園/
認定子ども園鳥取第5幼稚園
鳥取市立白兔保育園／鳥取市立ひかり保育園
合計6園:7名参加

講師 : 同志社女子大学
体験発表 : 現代子ども学科教授 笠間 浩幸氏
砂遊び道具の紹介 : 空山ぼくじょうようちえん
ぱっか 園長 石井 優子氏
(株)ポーネルンド 永山 隆太氏

これまでの事業の中で耳にしてきた保育の現場で抱えている疑問や悩みの解決を図るため、また砂場保育の質の向上のため、保育士の方々へ向けた研修会を実施。



砂遊びで抱えている疑問や悩み

- 熱中症特別警報が出た場合に遊びにくい。
- 0、1、2歳児の砂場での遊び方がわからない。
- 砂遊びが苦手な子どもでも砂遊びの楽しさを味わえるようにするにはどうしたらいいかわからない。
- 異年齢での遊び方が難しい。壊れると遊びが中断してしまう。
- 遊びこめる遊び方について知りたい。



参加者アンケート

- 0歳児でも砂に触れて遊ぶ姿から環境(砂場・保育者)を見直したうえで砂場遊びの可能性を感じた。
- 砂場遊びは子どもたちの心・身体の発達に効果的だと改めて感じた。
- 保育にすぐに活かせる内容ばかりで参加してよかった。早速子ども達と挑戦してみようと思う。

第1部 [笠間教授による実地研修会]



第2部[座学研修会/体験発表/砂遊び道具紹介]



所見

米国の哲学者ロバート・フルガムの言葉に「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」とある。砂遊びは幼児にとって想像と創造を学ぶだけでなく「社会性」や「おもいやり」といった人間関係づくりさえも遊びを通して学べる幼児期にとっても大切な遊びであると言えます。

砂場は遊び方次第で自在に変わってきます。単純な遊びだからこそその難しさがある中で、知れば知るほどおもしろい遊びでもあります。今回、参加人数が少なかったため、私達の活動がまだまだ認知されていないのか、それとも必要とされていないのか悩みましたが、実際研修会を開催してみると、砂場保育の難しさを抱え子ども達の育ちを真剣に考えている園や先生が集まって下さった事で小さな糸口が見えたように感じました。また参加人数が少なかったことからそれぞれの園が抱えている課題について専門家から教授いただいた事で課題解決に向けたアプローチが行えたことに大きな一歩を感じることができました。やはり私たちだけではできないことは限られています。普段から子ども達と関わり、砂場保育に係る先生方がまずは砂遊びの楽しさや魅力、そして子どもの成長に必要な遊びだと認識していただくことが必要です。今後は、鳥取県内全域を対象とした砂場保育の研修会、そして鳥取砂丘での全国砂場保育研修会の開催を目標とし、もう一度「砂場保育」の見直しを行っていきける事業を今後も継続して行っていきたいと思います。

砂場環境整備プロジェクト

実施日 / 2021年6月7日(月) 10:00~12:00
(事前準備6月2日(水)6日(日))

場所 : 空山ぼくじょうようちえんぱっか
資材提供 : 木材-(株)さかもと
ホワイトサンド-(株)HARIO

土でずっと遊んでいた園児の姿を見て、子ども達ももっと楽しめる砂場の環境を整えてあげたいと、ようちえん側に相談し、砂場の寄贈が実現。(株)ハリオ様、(株)サカモト様から資材を提供いただき、園児や園の職員の方々と協力して手作りの砂場が完成した。

当日

砂場道具入れを園児と制作



寄贈式



事前準備 職員さんやようちえんの子もたちと協力しながら、砂場の整地



砂場の木枠(株)さかもとでカットし、現場に設置



掲載記事
日本海新聞 2021/6/8



読売新聞 2021/6/8



所見

普段遊んでいる鳥取砂丘の「砂」、海の「砂」、今回寄贈いただいた白い「砂」それぞれの砂の違いや、「砂」にもいろんな色がある事など知る機会となりました。その後1か月に1回、ようちえん訪問を実施。園児と砂遊びをし園児の遊びの変化を見てきました。園長からは「今では砂場が園児のたまり場になっている。そして1日中そこで遊んでいる園児もいる。砂を変えるだけでこ

んなにも違うのかと驚いた。」と。今では園舎に砂場を必ずしも設置しなくてもいいという方向に変わってきています。鳥取市内での園でも砂場がない園もあります。「砂」のまち鳥取。もう一度、砂場の必要性和砂場環境を整えることの重要性を考えたいと思います。

砂の先生育成事業

砂の先生第1期生募集期間: 2021年7月2日~7月31日

募集定員 : 5名

応募 : 10名 鳥取大学生8名
保育関係者1名 市民1名

座学研修実施 : 2021年9月15日(水)
19:00~21:00 ZOOMによる研修会

講師 : (株)ポーネルド 永山 隆太 氏

テーマ : 「プレイリーダー」とは



所見

コロナ禍で大幅な変更を余儀なくされ思うように行かなかったものの目標を上回る応募もあり、事業のニーズを強く感じた。今後も砂文化を発信できる砂の先生の育成を目指していけたらと考えています。

広報ブランディング事業

実施日 / 2021年6月~2022年2月 9か月間

Instagramを使用した情報発信。すなださんアカウントでは、すなださんのファンづくり、砂遊びをする子どもの保護者に向けて、「子どもに砂遊びをさせたい」というマインド醸成を目指したコーチングコラムなどのブランディングコンテンツを発信。公式アカウントでは、事業情報発信などの広報活動を実施。

砂のルネッサンス公式アカウント

すなばようちえんや砂像制作などの事業告知や報告

投稿数

フィード投稿 38回

ストーリーズ投稿 75回

合計 113投稿



所見

コロナ禍であったため事業計画が変更となった一年ではあったが、各事業活動とおして砂像文化の醸成、砂の魅力の可能性を広げるという目的に向かって活動していることが発信できた。キャラクターである「すなださん」は、すなばようちえんでの子どもたちの反応からも人気を感じているが、InstagramでのDM反応やハッシュタグ「#すなださん」をつけた投稿もあり、認知度や人気も向上していることを感じた。また今年度は大人に向けて「大人も子どもと砂遊びをしながら、自分も砂遊びをしてみたくなる」という意識の変化を狙ってコラムを発信した。「砂」というツールを活用し、保護者や保育者が砂遊びを子どもと楽しみながらコミュニケーションをとる中で、子どもや自分の内面に対し新たな発見や気づきとなるものとした。今後は、砂遊びをとおして、砂に触れる機会が増え、砂への関心が高まり、砂像への興味も深まっていく中で、大きな砂場であり、鳥取のメイン観光地でもある「鳥取砂丘」を自分が暮らす街にあることを【誇らしい】と思う市民が増えていくように「郷土愛」を育む発信を行っていきたいと思います。

すなださん(キャラクター)アカウント

コーチングコラムの発信 & すなださんと子供たちの様子を発信

投稿数

フィード投稿 40回

(内コーチングコラム12回)

ストーリーズ投稿 78回

合計 118投稿



コラム投稿

■コラム執筆者: 田代 悠佳 氏 (MCS認定シニアマザーズティーチャー)

【テーマ】 [リーチ数] [いいね数]

- ①「砂遊び」お好きですか?..... 363 57
- ②イライラとの付き合い方 (砂遊びを楽しむコツ)..... 481 47
- ③効果的な褒め方 (砂遊びを楽しむコツ~褒め方編~)..... 401 39
- ④子どもの変化・成長に気づくコツ (砂遊びを楽しむコツ~変化・成長に気づく~)..... 377 27
- ⑤子どもへの注意 (砂遊びを楽しむコツ「子どもへの注意」編 /前編・後編)..... 333-331 34-38
- ⑥逆効果になる励まし方 (砂遊びを楽しむコツ「子どもの励まし方」/前編)..... 450 33
- ⑦効果的な励まし方 (砂遊びを楽しむコツ「子どもの励まし方」/後編)..... 271 28
- ⑧大人の砂遊び(砂遊びを楽しむコツ「オトナの砂場あそび」..... 324 33
- ⑨知られざる砂場遊びの魅力 (砂遊びを楽しむコツ「大人の砂場あそび」/後編)..... 255 36
- ⑩「砂のある街・鳥取」で生まれ、育つ我が子にあなただから伝えられること..... 278 38
- ⑪「自分には何も無い」「欠点・短所ばかりが目に行く」そんなあなたへ贈る3つの質問..... 209 28

フォロワー数

すなださんアカウント 2020年12月時点247 → 2022年1月時点406に増加

鳥取 砂のルネッサンス 2021

私たちが目指す 10年後の鳥取の姿



砂で創造する豊かな鳥取の未来

【MISSION/使命】 日常的に「砂」砂のまち鳥取の実現
【VISION/目指す姿】 鳥取のオンリーワンブランド「砂」で鳥取の未来を豊かにまちや人を元気に

砂が「文化」となり「産業」となる。砂は子どもたちの心や知性を育み、市民の生活を豊かにする可能性をもっている「砂」でこのまちの未来を創り豊かで誇れる鳥取を子ども達へ残していきたいと思います。